



先日の愛媛新聞に小学生から高校生の「将来なりたい職業」の記事が掲載されていました。中高校生のトップは教員という結果でした。その理由として、子どもにとって身近な職業であることをあげていました。一方、**教員採用試験競争率**は、2000年は13.3倍だったのが、2024年は3.2倍（愛媛県は2.2倍）と年々低くなっていて、実際に教員になりたい人の割合は激減しています。働く時間の長さや最近の学校環境が影響していると思われますが、かつて教員であった者として先生という仕事の良さ（魅力）を示したいと思います。



将来なりたい職業 (2024年)



小学4～6年生

1	プロスポーツ選手
2	店員（花屋・パン屋）
3	教 員
4	ユー・Vチューバー
5	医 師

中学生

1	教 員
2	プロスポーツ選手
3	医 師
4	看 護 師
5	保育士・幼稚園教員

高校生

1	教 員
2	看 護 師
3	医 師
4	地方公務員
5	保育士・幼稚園教員

学校の先生は面白い！ 教えることって楽しい！

- 1 成果や課題を子どもの表情や態度、理解度や成長で直接に感じることができる。
- 2 やりたいこと（授業・行事・生徒会活動・部活等）を自分の自由に構成できる。
- 3 教員間の上下関係がほとんどない。上からの指示や強制をあまり受けない。
- 4 頭脳的工作（授業・校務）と肉体的仕事（行事・清掃・部活）とのバランスがよい。
- 5 教室、職員室、体育館、運動場等行動範囲が広く、机の前にずっと座っていない。
- 6 数年に一度、勤務する学校がかわり、環境の変化によって気分を一新できる。
- 7 労働時間の長さは問題ではあるが、人から強制されたものではない。

高校入試に備えて～三好麻乃さん（鶴島教室中学3年生）

私は中学校生活の3年間、勉強と部活動のどちらも大切に過ごしてきました。部活では、自分のペースで作品作りに取り組むことが多く、**一つのことを最後まで丁寧に仕上げるには根気が必要で、その姿勢は勉強にもつながっている**と感じています。2年生の頃、思ったように結果が出ず悩んでいたことがありました。しかし、**少しずつでも続けていけば結果が良くなる**ことに気づいたのは、部活動での経験がきっかけでした。勉強も同じように、**わからないところをそのままにせず、こまめに復習すること**を心がけました。すると時間はかかっても着実に理解ができるようになり、テストの点数にも変化が現れ始めました。3年生になってからは受験を意識し、自分の中でやるべきことを決めて、取り組む習慣が身についたと思います。行きたい高校に合格できるように、これからも自分を成長させていきたいです。

